

ふれあい

<http://www.aoyama-hp.or.jp>

シリーズ第22回

医師からの メッセージ



新たな国民病 「慢性腎臓病」について

腎臓内科部長 兼 透析・血液浄化副センター長 菅沼 辰登

腎臓という臓器は常日頃意識されることが少なく、また腎臓の病気は病状が進行するまで自覚症状がないために、腎臓は「沈黙の臓器」といわれています。しかしながらこの10年ほど慢性の腎疾患について注目されるようになってきました。その契機は2002年にアメリカで「慢性腎臓病(Chronic kidney disease、CKD)」という疾患概念が提唱されたことであり、次いで2006年から日本でも慢性腎臓病という用語が使われています。

慢性腎臓病とは、慢性的に腎臓が障害されたり慢性的に腎臓の機能が低下していきたりする状態の総称です。

このような疾患名が提唱されるに至った理由は2つあります。1つは、末期腎不全患者数すなわち人工透析患者数の増加です。2013年末の日本の人工透析患者数は314180人で年々増加していますがこの増加傾向は全世界的なものです。2つ目は腎臓病の患者さんは心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、脳出血といった心臓血管合併症が多いことがわかってきたからです。でるだけ早期に腎臓病を見つ

け出し適切に対処することによって末期腎不全への進行を抑制し、心血管合併症を防ぐことが大切です。

慢性腎臓病の診断には特に難しい検査をする必要はありません。尿検査と血液検査で診断が可能です。尿検査で「尿たんぱく」を調べ、血液検査で「血清クレアチニン」を調べることで診断がつきます。尿たんぱくが陽性の場合腎臓の障害が考えられ、また尿たんぱくの量が多いほどその障害が強いことが多いです。クレアチニンは筋肉での代謝産物で代表的な尿毒素の一つです。本来は尿中へ排泄されますが腎機能が低下すると血液中に蓄積し高値を示します。この血清クレアチニン値から腎機能の指標である「糸球体濾過量(GFR)」を算出することができ、ます。正常な場合を100としてGFRの数値が60未満なら腎機能が低下していることを意味します。なお、血清クレアチニン値、年齢、性別により計算されたGFRを「推算GFR(eGFR)」といいます。

こうした検査により①腎臓の障害②腎機能の低下、のいずれかまたは両方があ

り、それが3か月以上続いている場合に慢性腎臓病と診断されます。

慢性腎臓病の正確な患者数は不明ですが全国で約1300万人と推測されています。代表的な国民病である高血圧が約4000万人、糖尿病が予備軍を含め約2000万人といわれていますが、それに迫る患者数であり、新たな国民病と考えられています。自分では気がつかないうちに病気が進行していることもあり、慢性腎臓病を早期発見するには、年に1回は健康診断で尿検査と血液検査を受けることが大切です。特に、高血圧、糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満、脂質異常症、喫煙習慣などは慢性腎臓病の危険因子とされています。ひとつでも当てはまる方は積極的に検査をうけることをお勧めします。



診療放射線技師



小林 美早紀 (放射線技術室)

総合青山病院で診療放射線技師として働き出してからあっという間に半年が経ちました。学生という立場から社会人という立場に変わり、初めは不安でいっぱいでしたが、温かく見守ってくださる患者さまや先輩方

らの丁寧な指導もあり、今ではとても充実した毎日が過ごせています。まだまだ未熟な放射線技師ですが、当院の理念である「患者さま側に立った全人的医療」が提供できるように頑張っていきたいと思っています。

新入職員
6ヶ月が過ぎて

平成26年4月、当院に22名の新入職員が入職しました。オリエンテーションや、各部門での研修を終え、それぞれの部署へ配属されました。若さみなぎるパワーで今後の成長が楽しみです。よろしくお願いいたします。

理学療法士



笠野 甲斐

(リハビリテーション技術室)

本年度よりリハビリテーション技術室の理学療法士として入職し、あっという間に半年が過ぎたという印象です。

入職したばかりの頃は、右往左往ばかりで不安もありました。ですが、患者

さまの治療で悩んだ時は職場の先輩方が優しく助言・指導をしてくださいました。今は患者さま一人一人に合った治療を考えながら、充実した毎日を過ごさせていただいております。

理学療法士として、機能回復ばかりに捉われるのではなく、医療というサービスを提供しているという自覚を忘れず、患者さまが満足して笑顔で退院していただけるよう努力して参ります。

准看護師



中尾 理沙 (2病棟)

新人看護師として働き始め6ヶ月が過ぎました。

学生の頃とは違う緊張感や責任の重さ、まためまぐるしく過ぎていく日々の気持ち

が追いつかなくなりそうな時もありました。しかし先輩方のサポートや、「大変だけど頑張ってね」と優しく声をかけて下さる患者さまに支えられここまで乗り越える事が出来ました。今は、退院時に患者さまから「お世話になったね。ありがとう。」と声をかけて頂き、とてもやりがいを感じています。

まだまだ知識も技術も不足しているためご迷惑をおかけする事も多々あるかと思いますが、患者さまの立場に立った看護をしていき、患者さまが安心して過ごせる環境を提供出来るよう努めていきたいです。

システム管理



土屋 健 (システム管理室)

本年度より新設されたシステム管理室に配属され、新入職員として働き始めて半年近く経とうとしています。学生時代とは違い、病院内のシステムの基幹を預かる担当者として、自分の行動や発言の一つ一つに責任が伴ってくることを

感じながら日々の業務に取り組んでいます。慣れない業務の中で、学ぶべきことの多さや自分の至らない点を痛感し、大変ではありますが、やりがいを持って働かせていただいています。

まだまだ未熟者ですが、システムを通じて患者さまや職員の皆さんのサポートができるよう、これからも邁進していきたいと思います。

クランク



牧原 実里 (外来)

入職してからの半年間、初めは慣れないことばかりで不安も多くありました。しかし、職員の皆さんの優しく丁寧な指導のおかげで、患者さまを診察室へお呼びすることや、検査の説明や案内など、少しずつではありますができることも増えました。患者

さまから「ありがとう」と感謝の言葉をいただくと、嬉しさを実感することができ、とても充実した毎日を過ごしています。まだまだ至らない部分も多くありご迷惑をかけてしまうと思いますが、外来クランクとして少しでも患者さまや職員の皆さんの役に立てるよう笑顔を大切に一生懸命頑張っていきたいと思っています。

医療技術

vol.21

NEWS

輸液ポンプ・
シリンジポンプについて

臨床工学室 主任 臨床工学技士 飯見 慶一



輸液ポンプ・シリンジポンプは病院内でICUはじめ一般病棟、手術室などで使用され、心電図モニタとともに最も一般的な医療機器の一つです。また、これらポンプは病院の中で最も数が多い医療機器であり患者さまが最も身近に使用する医療機器と言っても過言ではありません。

輸液ポンプとは、輸液セットのチューブをしごいて、薬液を注入する装置です。大量の輸液バックが使えるので、長期間の連続注入を行うことに適しています。（流量精度 $\pm 10\%$ ）



シリンジポンプとは、注射器（シリンジ）をゆっくり押し、薬液を注入する装置です。注入する量の正確さ



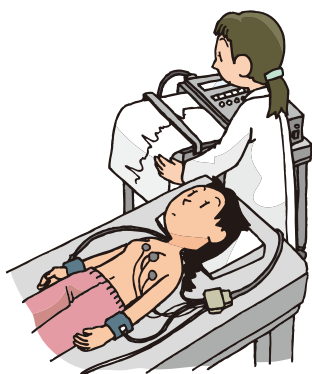
（流量精度）が優れているので、高濃度（少量）の薬を正確に注入するのに適しています。（流量精度 $\pm 3\%$ ）

では、なぜ薬液を注入するのに輸液ポンプ、シリンジポンプが必要なのでしょう？理由は、「ポンプが発生する圧力により一定の流量で輸液が可能であるから」です。輸液に関しては自然落下でも可能です。点滴筒を見ながら滴下数を計測し、調整することで流量をコントロールすることが可能ですが、輸液バックと患者さんとの高さの違い、輸液セット、静脈針の太さ、薬剤の粘度（組成、温度）などの様々な要因により、輸液量に誤差が生じます。そこで、誤差に影響する要因を無くすために、輸液ポンプが必要となります。

輸液ポンプ・シリンジポンプは薬事法により「高度管理医療機器（Class）」および「特定保守管理医療機器」に分類され、人体に与えるリスクが高く、保守点検や修理に関して適正な管理を行わなければ疾病の診断、治療又は予後に重大な影響を与える医療機器です。



当院には、輸液ポンプ40台、シリンジポンプ30台を所有し臨床工学室にて中央管理化しています。また、使用する看護師にポンプの特性を理解してもらう為、定期的に院内勉強会を実施し、使用する際には日常点検を行ってもらっています。臨床工学室では機器の保守管理を行うことで安全に使用することができ、患者さまの治療に少しでも貢献ができればと思っています。



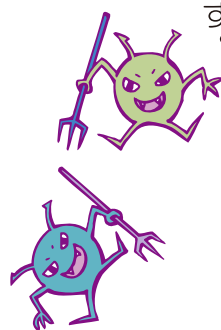
看護の現場から。vol.20

医療安全管理室 感染管理認定看護師
加藤 真弓

10月に入り涼しくなり、過ごしやすいようになってまいりました。夏の暑い時期には、食中毒にならないよう食品の管理には気を付けていたことと思います。しかし、これからの季節は、ノロウイルスに注意が必要です。ノロウイルスは、秋から冬における感染性胃腸炎の代表的な原因ウイルスです。感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。その他の原因となるウイルスには、「ロタウイルス」「サポウイ

感染性胃腸炎（ノロウイルス）に注意しましょう

ルス」「アデノウイルス」などがあります。ここでは、「ノロウイルス」についてお話をさせていただきます。



どのような感染経路がある？

- ① 感染した人の便やおう吐物に触れた手が正しく手洗いされず、ノロウイルスが口に入った場合。
- ② 便やおう吐物がしっかりと除去されていないため、乾燥して細かな塵と舞い上がり、その塵と一緒にウイルスを吸い込み体内に取り込んだ場合。
- ③ 感染した人が十分に手を洗わず調理し、ウイルスが付着した食品を食べてしまった場合。
- ④ ノロウイルスを内臓に取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生または不十分な加熱処理で食べてしまった場合。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎

1～2 日間の潜伏期間を経て発症します。典型的な症状としては、嘔気・おう吐、下痢・腹痛、37℃台の発熱がみられます（症状の程度には個人差があります）。

ウイルスの量が少なくても感染をします。そのため、同居されているご家族が感染していると他の家族も感染しやすいため注意が必要です。



予防のポイント

① 手洗いをしましょう！

特に排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

② 便やおう吐物を片付ける時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用しましょう。

③ カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。



第25回院内コンサート

～小坂井女声コーラスの皆さんによる～

サマーコンサート



8月30日(土)、『小坂井女声コーラス』の皆さんによるサマーコンサートが1階外来ホールにおいて行われました。入院患者さまや病院職員など約90名が、生演奏による33名のコーラスを楽しみました。

「エーデルワイス」や「荒城の月」、「四季の歌」などおなじみの歌を、アンコールを含めた全11曲を披露していただき、外来ホールに集まったみんなと一緒に歌いながら過ごしました。

元気の良い指揮者の下、素敵な歌声を聴かせていただき、患者さまも楽しいひとときを過ごしていただけたと思います。『小坂井女声コーラス』のみなさん、素晴らしいコンサートをありがとうございました。

広報委員 今泉 知津絵

院長から
みなさまへ

第17回

突然死につながる

失神(しっしん)発作

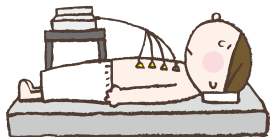
院長 森本 紳一郎



先日、警察から電話がありました。Aさん(60歳代)が農作業中に倒れて亡くなっていたとの情報です。この方は、以前総合青山病院に通院されていたと聞き、病状を教えて欲しいとのことでした。カルテを見ると確かに、今までに2回意識をなくしたとのことで、当院を二度受診されています。外来の検査(心電図、頭部のCTなど)では異常がなく、数日後に頭部のMRIを予約していたのですが、当日ご本人が来院されずにキャンセルになってしまいました。ここがAさんの運命の別れ目になりました。

失神とは、大脳皮質全体あるいは脳幹の血流が瞬間的に遮断されることによつておこる一過性の瞬間的な意識消失発作です。

通常は数分で回復し、意識障害などの後遺症を起こすことはありません。しかし不整脈が原因でそ



のまま死亡してしまうことも稀ならずあり、気をつける必要があるのはこのためです。

通常、失神が起こる前に、目の前が真っ暗になる感じや、めまい感、悪心などがあり、その後顔面蒼白となり、ついに意識が消失します。最も多いのが、「血管迷走神経反射性失神」で、これは予後がよく問題ありません。長時間の起立、疼痛などで起きます。小学生がグラウンドでの朝礼で倒れるのはこれです。次いで頻度が多く、気をつけなければならないのが「循環器疾患(心臓病)」で、次に「脳血管障害(脳梗塞など)」です。失神で特に危険なのは、致死性不整脈(死に至る脈の乱れ)によるもので、この場合、本当に瞬時に起こるため、受け身をとることができません。そのため顔面外傷などの合併をみたら念入りに心疾患を探ることになります。通常の心電図は数秒間しかとっていないために、致死性不整脈があったとしてもその不整脈をとらえきれないことが多いです。

そこで24時間のホルター心電図が必要になります。この心電計はタバコ1箱分ぐらいの大きさで、入浴できないのがつらいのですが、外来で検査が可能です。もし前述の危険な不整脈を認めたら、入院していただき治療を開始します。

失神は死につながる危険な徴候だけに、私達も極めて慎重に対応しています。したがって、意識をなくした経験のある方は是非とも受診していただきたいものです。

知っ得!! 情報

第21回 平成26年度 インフルエンザワクチン 接種の予約について

インフルエンザを予防するためにも予防接種をしましょう。

一般の方の予約 (13歳以上の方)

接種場所 健診センター4階

接種開始日 10月1日(水)～

予約方法 外来4番窓口または
お電話にて下記時
間内で予約をお取
りします

月・火・水・金曜日 8:30～18:00
木・土曜日 8:30～12:30

※詳しくは外来4番窓口にお問い合わせください。

お子さまの予約 (13歳未満の方)

接種場所 小児科外来

接種開始日 10月20日(月)～

予約方法 お電話にて下記時
間内で予約をお取
りします

月・火・水・金曜日 16:00～17:00

※詳しくは小児科外来にお問い合わせください。



医事課 磯田 久美子

遊びの 広場

数独



数独の解き方

1. タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1～9までの数字が1コずつ入ります。
2. 太線で区切られた3×3の枠内(マスは9コ)にも1～9までの数字が1コずつ入ります。
3. 従って、タテ、ヨコ、枠内で、同じ数字が重複して入ることはありません。
とにかく、算数無用、注意力の勝負、なるべくラクをして、かつスマートに解いていきましょう。

	3	4		2		8		1
					5		7	
	2				7		9	
1	9			8	2			
3	4		9	5	6		1	
	5	6	7				2	
		3		9	4	1		5
4		9					3	7
				7		4		

お詫び

ふれあい22号「遊びの広場(まちがいがし)」に誤りがありました。「6つのまちがい」と明記しておりますが、まちがいは7つあり写真右下の草の部分の違いも解答となります。お詫びして訂正いたします。



情報ステーション

Aoyama
Hospital
Information
Station

第26回

院内コンサートのお知らせ

ラクダチャイムクワイヤによる
**トーンチャイム
クリスマスコンサート**

日時 平成26年12月13日(土)
午後2時00分～(約50分)

場所 1階 外来ロビー

参加 自由(無料)

第27回 公開講座のお知らせ

テーマ

知ろう、防ごう
狭心症・心筋梗塞

講師

循環器内科医長
江坂 佳名子 先生

日時

平成26年11月15日(土)
午後1時30分～

場所

総合青山病院 5階 講義室

お問い合わせ

TEL 0533-73-3777 参加無料
(詳細は上記TEL又はインフォメーションまでお問い合わせ下さい。)

参加
無料

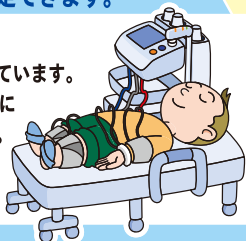
健診センターよりお知らせ

血管年齢測りませんか? あなたの血管は大丈夫ですか?

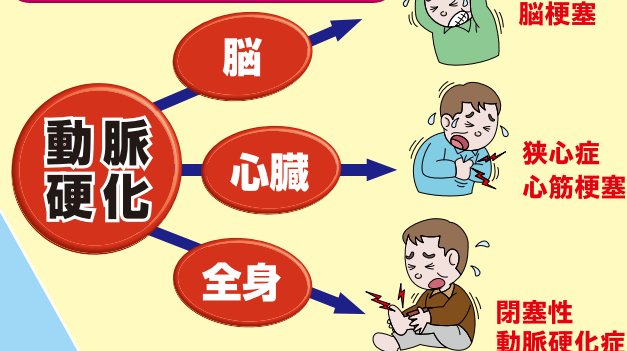
わずかな時間で簡単に動脈硬化が測定できます。

当院では

血管の状態をみるための簡単な検査を行っています。
検査は両手、両足首の4カ所の血圧を同時に
測定するだけなので、気軽に受けられます。
わずかな時間で測定することのできる、
とても簡単な検査です。



動脈硬化を放っておくと・・・



動脈硬化とは?

血管の壁に脂肪などが沈着して厚くなり、血管の内腔(血液の通り道)が狭くなることや、血管の壁が硬くなり、弾力性(しなやかさ)が失われてもろく壊れやすい状態になることです。放っておくと、心疾患(狭心症・心筋梗塞など)や脳血管疾患(脳梗塞・脳出血)などの大変な病気を引き起こす恐れがあります。

詳しくは健診センターまで TEL(0533)73-3784

環境美化運動

平成26年9月26日(金)、職員による病院敷地内及び外周のゴミ拾いや草刈りなどの環境美化運動を行いました。

当日は昼休みの12時30分から各部署に協力をいただき、約80名で作業を行いました。秋晴れの天候の下、約30分間の作業によって建物周辺及び駐車場がとてもきれいに、明るくなりました。

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

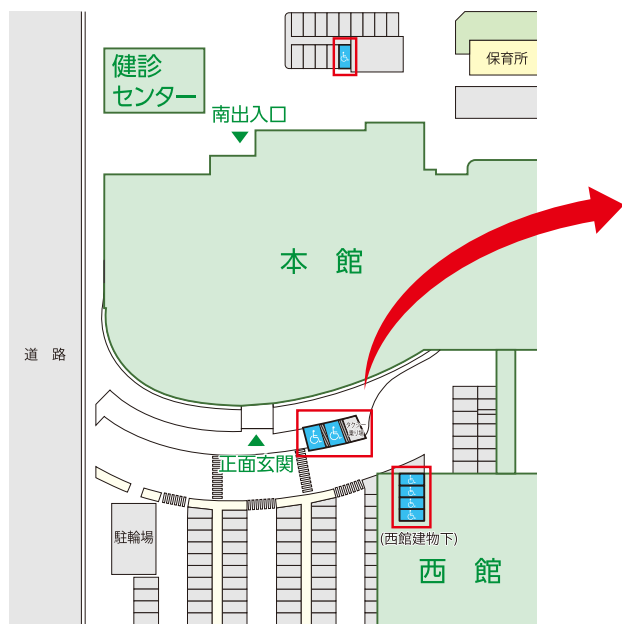
総務課 山西 貴久



車イス専用駐車場のご利用について

当院では、正面入り口付近、西館入口前、第2駐車場に車イス専用駐車場を設置しています。この駐車場の利用については、車で来院されている方で歩行・乗降が困難な方が駐車する区画とさせていただきます。障害者手帳や駐車違反除外指定車証をお持ちの場合でも歩行や乗降に支障がない方は一般駐車場のご利用をお願い致します。

また、歩行困難な方を車イス等に寄せかえるときは正面玄関に一時的に停車して頂くこともできます。



車イスをご利用の方は、乗降の際にはより広いスペースが必要となります。該当者の方以外の駐車はご遠慮下さい。

皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

遊びの広場の解答

7	3	4	6	2	9	8	5	1
9	6	8	4	1	5	3	7	2
5	2	1	8	3	7	6	9	4
1	9	7	3	8	2	5	4	6
3	4	2	9	5	6	7	1	8
8	5	6	7	4	1	9	2	3
6	7	3	2	9	4	1	8	5
4	1	9	5	6	8	2	3	7
2	8	5	1	7	3	4	6	9

編集後記

10月に入り季節もすっかり秋めいてきました。味覚の秋、スポーツの秋、読書の秋といいますが皆様にとって秋はどんな季節でしょうか？

味覚の秋もたいへん魅力的ですが秋は体を動かすにも適した季節です。普段、体を動かすことがあまりない方も何かスポーツを始めてみてはいかがでしょうか？

スポーツまではいなくても少し散歩をするだけでも秋の心地よい風を感じられるのではないのでしょうか？

広報誌『ふれあい』では今後も総合青山病院の情報発信をしていきます。皆様のご意見ご要望がありましたら是非、お聞かせ下さい。

病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

1. 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
2. ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
3. ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
4. ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
5. 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
6. ご自分の診療録の開示を求める権利を有します